

# Japan Beverage

号外



## 浜口京子!笑顔と感**銅**のメダル獲得!

～「私の人生の中では、金メダル以上の経験でした」～



### 銅メダルへの軌跡



3位決定戦

○[4-0] vsスベトラナ・サエンコ(ウクライナ)

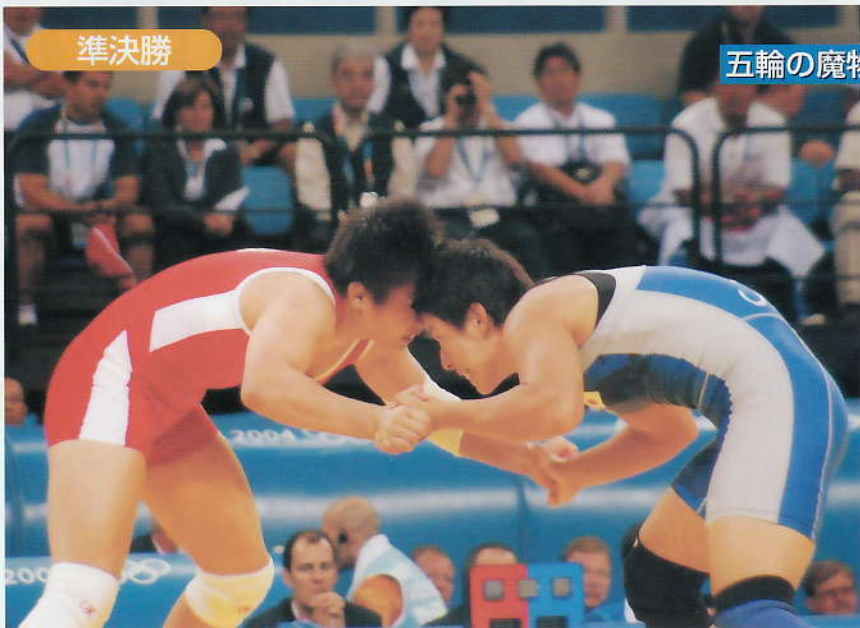
### よくやった京子!笑顔と感動の銅メダル!!

金メダルを目標にした選手が途中で負けた場合、気持ちが切れて、闘争心が萎えてしまうことがよくある。しかし浜口選手は違った。「何があってもメダルを取りたい」との思いが湧き出てきた。選手村に帰っても、金メダルに手が届かなかったことで落ち込むより先に悔しさが出て、目がさえてしまったという。その気持ちを、3位決定戦の相手、サエンコにぶつけた。着実に1点ずつを取り、第1ピリオドを4-0とリード。第2ピリオドも強引な攻撃はせず、相手の攻撃をしっかり守って判定勝ちした。負けた時にその選手の本当の強さ、たくましさ、真価が問われる。まさかの準決勝敗退後、気持ちを切りかえて見事に銅メダルを獲得した浜口選手の強さ、そして試合後、金メダルを取った王旭について聞かれると、即座に「女子レスリング最初のオリンピックの初代女王にふさわしい選手だと思います」と答えたスポーツマンシップ。浜口選手のさわやかな笑顔と言動は、まぎれもなく金メダル以上の銅メダルをその首にかけるとにふさわしいものであった。



準決勝

五輪の魔物!銅メダルを懸け3位決定戦へ!!



初日の予選を危なげなく勝ち上がり、調子の良さが際立っていた浜口選手。2日目の準決勝は中国の王と対戦。開始早々、足首タックルが決まったかに思えたが、王がうまい身のこなしでバックを取りローリング、3点を失う。しかし、すぐにバックを取り、腕を取って王の体を返して3-3として第2ピリオドへ。そして同点で迎えた第2ピリオド終盤、浜口選手が王の左手首をがっちりぎったため、警告で王に1点が入った。再び王のパーテールポジションからの攻撃となり、ローリングが決まった。この時、電光掲示板が間違っており、王が5-4のリードとなっていた(本当は6-3)。浜口選手は「万来の氣合」で最後までこん身の力を込めて攻撃して1点を取ったが、6-4で敗れる波乱であった。

●[4-6] vs王旭(中国)

予選2回戦も圧勝!準決勝へ!!

浜口選手が引き落としてバックを取って先制。ニアフォールを決めて2+1点(5秒ボーナスポイント)を決めて攻勢をとる。外無双は失敗したが回りこみ、1点を取って5-0として第1ピリオド終了。第2ピリオドも攻撃がとまらず、7-0としたあと、タックル~ローリングで10点差をつけた。昨年の世界選手権では接戦だった相手に圧勝。金メダルへ向け順調に準決勝進出を決めた。

○[Tフォール、5:17=10-0]  
vsスタンカ・ズラテバ(ブルガリア)



予選2回戦

予選1回戦

初戦から事実上の決勝戦! “世界1・2位対決”を制す!!



前日の抽選結果により、いきなり初戦から世界No.2の米国のモンゴメリー選手との事実上の決勝戦となってしまった初戦、開始早々にタックルで1点を先制し、ローリングで2点を追加。その後、スタンドからうまくニアフォールへ追い込んで3点を加えたが、1点も取られた。このあと1点ずつ取り合って5-2。第2ピリオドは浜口選手が1点を2度取り7-2へ。モンゴメリーも反撃し、ポイントを失ったものの、最後は8-4で勝って見事“世界1・2位対決”を制した。

○[8-4] vsトッカラ・モンゴメリー(米国)



## ドキュメント

### ◆アテネ五輪出場激励会 (2004.7.12 本社21F会議室)

アテネ五輪へ出場する浜口選手、鈴木監督、金浜コーチ3名の激励会を本社ビルにて行いました。当日は、役員をはじめ、本社・首都圏・京浜他の各部署から約150名が集まり、浜口選手も「絶対!金メダルを獲ってきます!!」と頼もしい一言。



激励の言葉を贈る島田常務



社員を代表して激励する佐藤部長(京浜支社 企業情報部)



社員のメッセージ入り日の丸を背に決意を述べる浜口選手



活躍を祈願して万歳三唱



### ◆出発 (2004.8.11 国立スポーツ科学センター→成田空港)



AM8:00 国立スポーツ科学センターを出発



空港にはお父さん&応援団も現れ、気合注入??連発!!

### ◆アテネにて



アテネにて...皆、調整は順調のようです!

### ◆帰国 (2004.8.31 成田空港)



出迎えた社員に手を振る浜口選手

### ◆アテネ五輪帰国報告会 (2004.9.3 本社21F会議室)

アテネから無事帰国した浜口選手、鈴木監督、金浜コーチとアフガニスタン代表コーチとして同じくアテネへ入っていた赤石コーチの4名の帰国報告会が本社ビルにて行われました。横原社長以下、役員、本社・首都圏近郊の社員とマスコミ各社が約100名集まり、浜口選手の銅メダル獲得を祝いました。既に、ニュースなどで見た方もいるとは思いますが、帰国報告を行った浜口選手は「メダルはこの色(銅)ですが、心は金色で帰ってきました!」「ジャパンビバレッジ大好きです!ジャパンビバレッジ最高です!」とアテネと同じくさわやかな笑顔を見せてくれました。



横原社長より4名に報奨金が贈られました

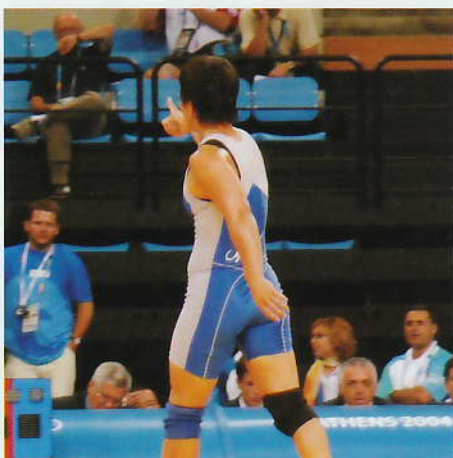


「心は金色で帰ってきました」と帰国挨拶



報告会終了後、和やかなムードで行われた記者会見





Go to the BEIJING!!

応援

ありがとうございました。

浜田 幸子



株式会社 ジャパンビバレッジ